



# 島根原子力発電所 2号機 新規制基準への適合性審査の状況について

---

平成28年10月  
中国電力株式会社

# 審査の状況(平成28年7月～9月)

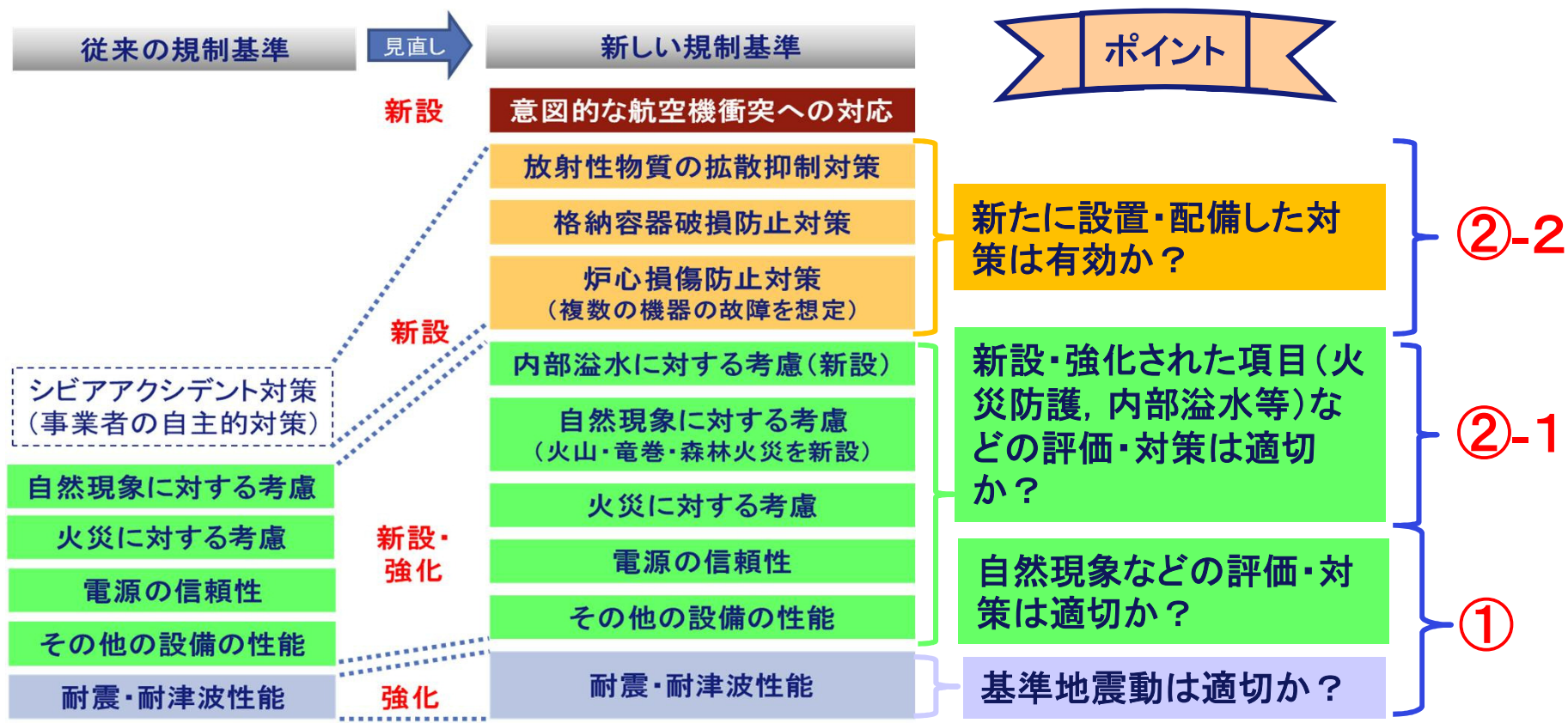
- 地震・津波関係では「耐震重要度分類の見直し」、プラント関係では「重大事故対策の有効性評価」に関する審査が行われています。

審査テーマ	開催日
耐震重要度分類の見直し	7/12
重大事故対策の有効性評価	7/12, 8/25 9/15

審査テーマ	概要
耐震重要度分類の見直し	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 地震を検知し、主蒸気系の隔離弁を自動的に閉止する自主的な被ばく低減対策等を踏まえ、被ばく影響の十分小さい設備のクラス分類を基準に基づき見直しすることとしております。</li><li>✓ 7/12の審査会合では、原子力規制委員会からの指摘を踏まえ、再検討した当社の方針(地震時に万一、非常用の設備や安全対策設備が使用不能となった場合にも有効と考えられる設備については見直しの対象としない)を説明しました。</li><li>✓ 原子力規制委員会からは、耐震重要度分類の変更によって、規制で求められる安全機能への影響がどうなるのか評価するようコメントがありました。</li></ul>
重大事故対策の有効性評価	<ul style="list-style-type: none"><li>✓ 炉心損傷防止対策、格納容器破損防止対策の有効性評価について、審査会合でのコメントへの回答(詳細説明)を順次行っています。</li></ul>

# 審査の全体像

- 平成25年12月25日，島根2号機の新規制基準への適合性確認を申請。平成28年9月30日までに，79回の審査会合が開催されている。
- 審査される分野は，大きく①地震・地盤・津波関係といった外部要因に関するものと②プラント関係の2分野に分かれる。
- 事前にヒアリングを実施し，その後，審査会合が公開の場で開催されている。

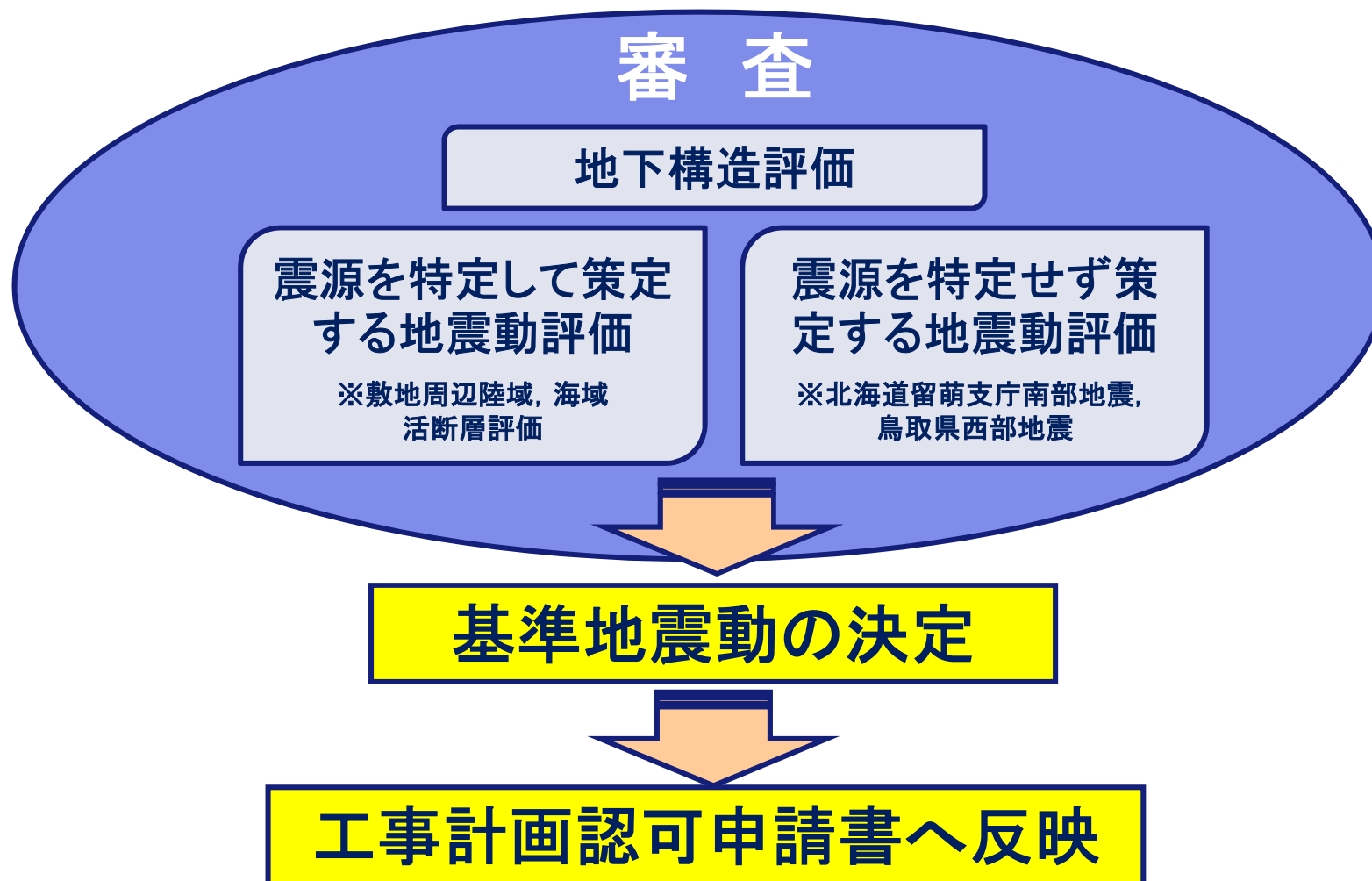


# 審査状況

## ① 地震・地盤・津波関係

---

- 敷地内の地下構造評価，震源を特定して策定する地震動および震源を特定せず策定する地震動をそれぞれ評価・審査された上で，基準地震動が決定される。基準地震動が決まれば，設備の詳細設計（工事計画認可申請）に反映。



# 主要項目の審査状況（①地震・地盤・津波関係）

5

主要な審査項目		審査状況	
地震 関係	地震	敷地及び敷地周辺の地下構造	実施済
		震源を特定して策定する地震動	実施中
		震源を特定せず策定する地震動	実施済
		基準地震動	未実施
		耐震設計方針	実施中
		敷地の地質・地質構造	実施済
		地盤・斜面の安定性	未実施
	津波	基準津波	未実施
		耐津波設計方針	未実施

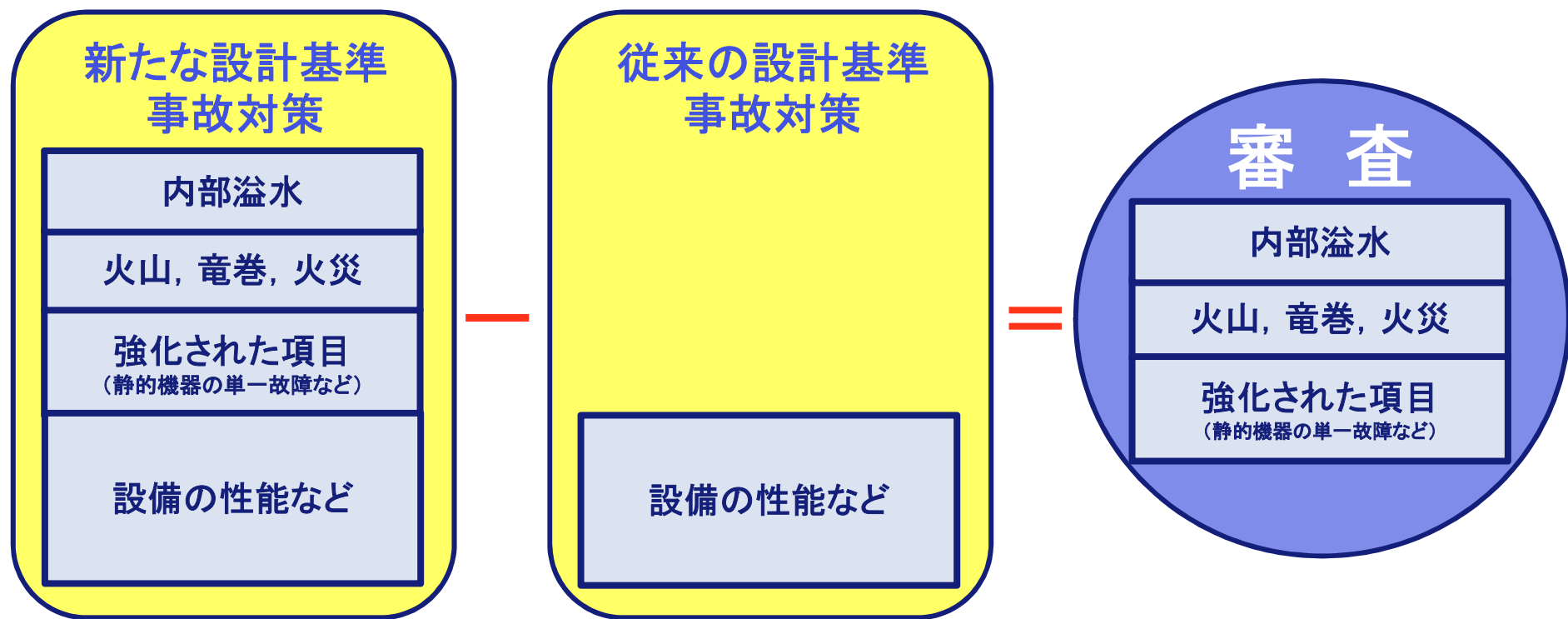
# 審査状況

## ② プラント関係

---

# 審査の流れ（プラント関係 ②-1 設計基準事故対策）

- プラント関係の審査は、大きく「**設計基準事故対策(事故を起こさない対策)**」と「**重大事故対策(事故が起こった場合の対策)**」に分別される。
- 「**設計基準事故対策**」は、従来の基準から強化された項目及び新たに新設された自然現象といった外部要因に対する影響評価・対策について審査される。  
代表例：火災防護対策の強化  
火山(影響評価, 対策), 竜巻(影響評価, 対策)  
内部溢水



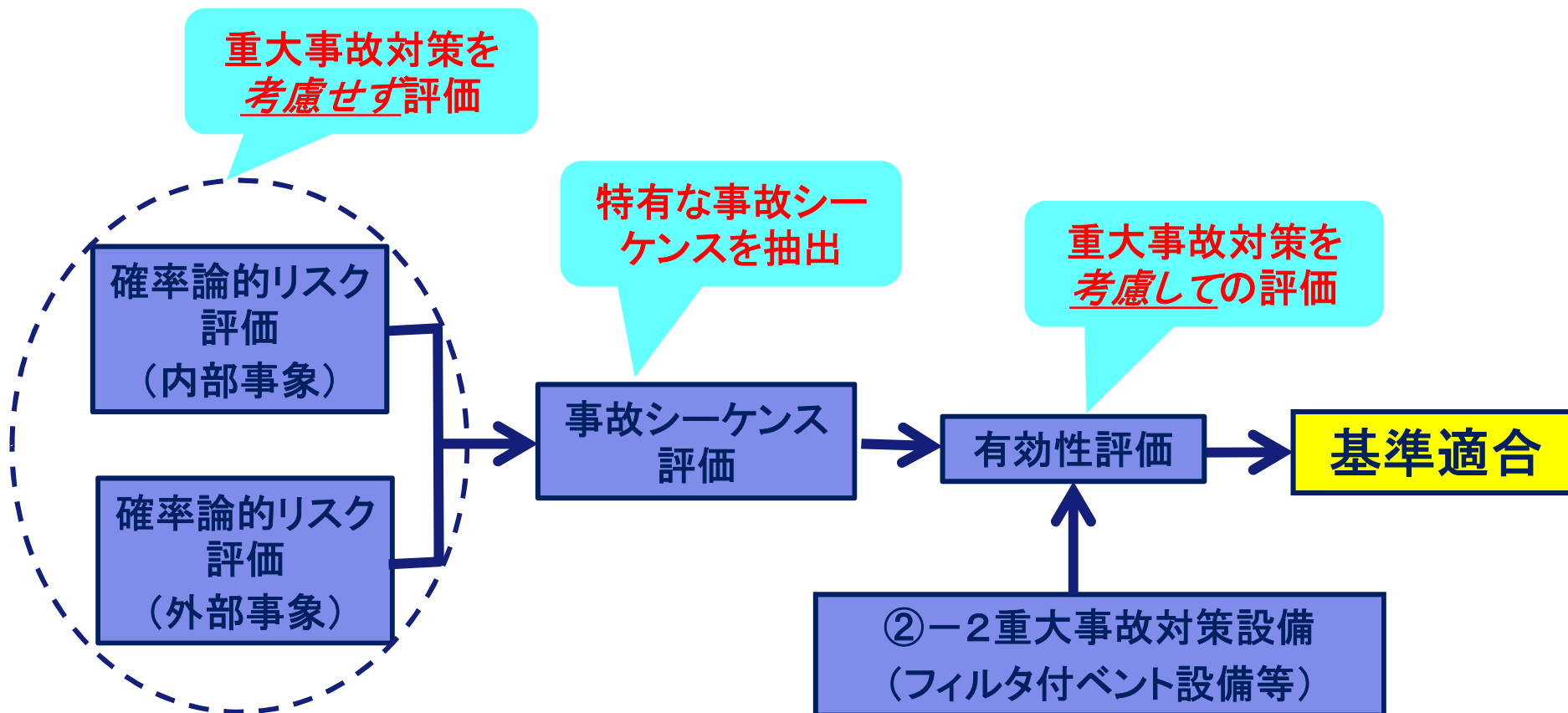


## 審査の流れ（プラント関係 ②-2 重大事故対策）

8

- 「重大事故対策」は、主に福島第一の事故後に新たに配備・設置した設備や手順が有効に機能するかが審査される。

代表例： 送水車, 高圧発電機車などの可搬型設備  
フィルタ付ベント設備  
緊急時対策所



# 主要項目の審査状況（②プラント関係）

		主要な審査項目	審査状況
プラント関係	重大事故対策	確率論的リスク評価	実施中
		事故シーケンスの選定	実施中
		有効性評価	実施中
		解析コード	実施中
		中央制御室	実施中
		緊急時対策所	実施中
		フィルタ付ベント設備	実施中
		水素爆発防止対策	実施中
	設計基準事故対策	内部溢水	実施中
		火災	実施中
		竜巻	実施中
		火山	実施中
		外部事象	実施中
		静的機器の単一故障	実施中
		保安電源設備	未実施
		誤操作防止, 安全避難通路, 安全保護回路	実施中
		原子炉冷却材圧力バウンダリ	実施中
		通信連絡設備	実施中
		監視測定設備	実施中
		共用設備	実施中